

# 筑紫女学園報 Report

# No. 78

2012 September

2012(平成24)年9月6日



特集

大学・短期大学部 / 高校・中学校

筑女が考える「進路選択のあり方・捉え方」

その教育 しなやかで、ゆるぎない。  
学校法人 筑紫女学園

<http://www.chikushi.ac.jp>

筑女

検索

# 法海

Hou-Kai

ここに響くことば

02

よきことばは  
明るい心から  
生まれます。



「ことば」は心の架け橋と言われますが、「ことば」は、私たち人間にとって、とても大切なコミュニケーション・シーン・手段のひとつです。私たちの日常生活を考えても、「ことば」をかける「声をかける」ということは、人と人との結びつきを作ることであり、「ことば」もかけられたい。「口をきかない」というと、人間関係がうまくいっていない状態を表すように、「ことば」は人間関係を成り立たせる最も大切なものといえるかもしれません。自分が伝える「ことば」を通して、

その人の心からの「ことば」でなければ意味をなしません。同じ「ことば」を使うにしても、ある人が使う時には美しく聞こえてくるものも、別の人が使うと同じように美しく聞こえるとは限りません。それは、「ことば」の本質が「ことば」を発している人全体の世界を表しているからです。「ことば」は精神の脈拍といわれるように、「ことば」を発する人の心がそのまま「ことば」となって表れるのです。お釈迦様も、「ことば」について、「怒りのことば」「悪いことば」を捨て、「よきことば」を使いなさい」と仰いました。それは、とりもなおさず、怒りや憎しみを抱くのではなく、人を思いやり愛おしむ心をもちなさい、その心がよき「ことば」を生むのであるということです。

「ことば」の乱れは、心の乱れの現れであるとも言われます。日々ごろから使っている私たちの「ことば」について、考えてみましょう。

【中学・高校宗教部】

この内容は、高校・中学のWebサイト「今月のことば」に掲載されています。「今月のことば」とは、毎月はじめ、高校・中学の全校生徒に配布している「ここに響くことば」です。皆さまもぜひご一読ください。【アクセスバナー】 <http://www.chikushi.ac.jp/kotoba/>

## Contents

### Special Issue

- P2 大学・短期大学部／高校・中学校  
**筑女が考える「進路選択のあり方・捉え方」**  
特別対談 「これからの社会を生きる 社会人に必要な素養とは？」  
・小早川 明徳 氏(福岡県中小企業経営者協会連合会特命代表) × 若原 道昭 学長  
インタビュー 「他者との関係の中で自分の夢を描く」・中嶋 利昭 校長

### P6 2013(平成25)年度・入学試験要項

### CJ People

- P7 **やるネ!筑女生**  
・大学／さまざまなことに取り組んできた2年半(山崎 西さん／大学・人間福祉学科3年)  
・高等学校／ボーイスカウト活動で名誉ある「富士章」を受章(阿部桃子さん／高等学校3年)  
・幼稚園／年長さんが夢中で取り組む竹馬乗り
- P9 **キャンパス通信** 「PCアシスタント」たちの活動レポート
- P10 **がんばる!クラブ** ・中学校音楽部 ・クラブ活動の成果
- P11 **就職の筑女** ・アイ・ケイ・ケイ株式会社 井川 麻美さんの巻
- P12 **卒業生からの手紙** ・中村 哲也さん(幼稚園OB) **支えびとさん、登場!** ・田中 良一さん(大学・短期大学部/用務員)

### CJ Topics

- P13 **CJ ホットピックス** ～注目の学園ニュース～  
・学生の自主性を伸ばす「学生チャレンジプロジェクト」  
・ニューヨーク州立大学生との交流会
- P14 **CJ フォトピックス** ～写真で見る筑女生の「今」～

### CJ Information

- P17 **平成23年度 決算報告**  
P18 **筑紫女学園からのお知らせ** ほか

### CJ Academy

- P19 **生涯学習のススメ** ほか  
・公開講座レポート  
・2012(平成24)年度後期 筑紫女学園大学 公開講座  
・Professors' Works ～先生方の著作紹介～

## Report

No.78  
2012 September

### CJ Reportの読み方

#### 各学校のマークについて

学校ごとに以下のマーク(色分け)を施しています。



上記以外の記事の色分けは任意で行っています。

### 表紙のこと

今回の表紙は、ニューヨーク州立大学からの留学生と交流授業を体験した高校2年生に登場してもらいました。英語での自己紹介や会話を通して、国際感覚を磨きました。(本誌P13参照)



### 「CJ Report(筑紫女学園報)」のバックナンバーはWebサイトで!

各学校のサイトからバナーをクリックするだけで本誌のバックナンバーをご覧いただけます。





① 卒業生が在校生を指導する「放課後・学習支援チューター制」(高校・中学校)。② 就職活動中の後輩に、内定が決まった先輩が講義を行う「先輩ゼミ」(大学・短期大学部)。  
③ 大学さながらの講義を年4回、校内で体験できる「進路(ツイム)講座」(高校)。④ 学生の資格取得やボランティア活動を一括サポートする「実習支援センター」(大学・短期大学部)。

特集

大学・短期大学部／高校・中学校

# 筑女が考える 「進路選択のあり方・捉え方」

受験生、在學生、またその保護者の方々が最も気になることの一つに、

「進学や就職に対して学校がどういった考えを持ち、

どのようにサポートをしてくれるのか」ということが挙げられます。

そこで今回の特集では、「企業トップの方と学長との対談」及び「校長へのインタビュー」を通して、筑紫女学園の各学校が、学生・生徒の将来をどのように見据えて社会に送り出そうとしているのか、という点について迫ります。



## Part-1 大学・短期大学部

特／別／対／談

# これからの社会を生きる 社会人に必要な素養とは？

福岡県中小企業経営者協会連合会  
特命代表こばや かわ あきのり  
小早川 明德 氏筑紫女学園大学・短期大学部  
学長わか はら どうしろう  
若原 道昭

情報技術の革新が人や物の流れを変え、ますますグローバル化する社会の中で、これからの将来を担う若者たちに必要な素養とは何か。また、その育成のために、企業と大学はどのようなベクトルを持ち合わせるべきか。お二人の対談から導き出していきます。

## 産業界に直結する、 大学の教育

**若原** 日頃から学生のインターンシップ等でお世話になっております。経済産業省から中小企業の人材確保・定着支援事業を受託され、中でも「九州インターンシップ協議会」における取り組みは、大学と企業を繋ぐ、かけがえのない存在となっております。

**小早川** (敬称略) これほど企業と大学、それぞれに利害が一致する事業はありませんね。大学の人材育成は、

そのまま産業界における人材育成であるという視点で取り組んでいます。

**若原** その一方で、全般的に学生の就職環境は、経済市場の変化が激しい中、厳しい状況が続き、なかなか好転の兆しが見えません。

**小早川** 確かにそうですが、率直に申し上げて、昨今の学生の就職活動に対する感覚に首をかしげることが多々あります。自らの人生設計という長いスパンとは違う要素の中で企業を選んでいるのではないかと。

**若原** その背景には、新卒者の一括採用という日本型の慣行によって、

学生の就職機会が限られていることや、グローバル展開をしている企業における留学生採用や現地採用の比率が高まり、さらに競争が激化していることもあるのではないのでしょうか。

**小早川** だからこそ、自らの人生観や職業観に沿って企業を絞り込む学生の方が、採用される確率は向上すると思います。そのような学生への信頼度は企業としても高まりますし、内定をいくつも取って自慢するだけで入社するかどうかも分からないのでは、企業も慎重にならざるを得ませんからね。

## 「ゆるぎないものを内に持ち、 時代や社会の変化へしなやかに」 (若原)

### 自らの進路を実感として、 捉えられる環境を

**若原** 私は、学生自身の考え方の転換も必要ですが、一方で企業と大学との連携不足も就職難が好転しない一因ではないかと思えます。現在は大学設置基準の中でも、学生の社会的・職業的自立を促す学士力の養成が求められており、また、昨今は産学連携による人材育成プラットフォームの拡大強化が求められるようにもなってきました。さらに、大学と高等学校との教育接続・キャリア

接続も課題の一つと捉えています。

**小早川** その通りですね。私どもが毎年行っている「FUKUOKAみらいフェスタ」では、小中学生に親の職場を見せ、体験させるのですが、家で接する親とは別の「働く姿」を見ることで、尊敬や憧れを抱く子が多い

んです。仕事に対する見方を育てる入口としては、そういう体験の機会を増やすことが大事ですね。

**若原** 子どもにとって親は、おそらく最初に意識する職業選択のモデルですからね。とはいえ、そういった経験がないままに大学へ入学してくる学生

もいるわけで、「目標が見つからない」「学習意欲が高まらない」といった学生も決して少なくありません。そのような学生には、例えば、学友会やサークル活動をはじめ、ボランティア活動など、学内外での繋がりのの中で、自ら活動し、まわりから学ぶことの大切さに気付いてほしいと思います。また、本学には、教職員一人ひとりに、学生たちとともに歩んでいこうとする風土があり、学生が主体的に取り組めるようなきつかけづくりが、近年、着実に広がっていることも、とても嬉しく思っています。

の周り道の有用性などについても語られました。

学生の「進路選択」をサポートする  
本学の取り組み例

【工場見学ツアー】



福岡近郊に拠点を置き、グローバルに事業展開されているさまざまな業種の工場への見学ツアーを実施。参加した学生からは「それまでイメージとして捉えていた職業観がリアルなものになった」と好評です。

【天神キャリアセンター】



卒業生および在学生、特に卒業後も就職活動を続けている方を対象に、さまざまなサポートバックアップを行うセンターを開設しています  
【お問合せ/☎ 092(715)0340】

【就職活動強化ワークショップ】



大学3年生と短期大学部1年生を対象に、「話す力を身につける」をテーマに、就職活動のノウハウを集中的に学ぶプログラムです。

**不透明な時代だからこそ、筑女の建学の精神を礎に**

若原 「知識」や「教養」に加え、広い視野と多様な「経験」が必要ですね。「グローバル」に捉えるという視点は、現在の就職活動において、最も重要なキーワードです。

小早川 その点、御校は自信をお持ちになっていいと思います。昨今は価値観や判断軸を持たない若者が増えていますが、筑女には「仏教」という精神的なバックボーンがあり、それに培われた校風がある。グローバル化する社会の中で一番大切なのは、自分を知り、自国の精神文化や民族として受け継いできたものを語れることです。知識や教養は、その基本の上に行動が日常化し生活化して身につきます。御校にはそのための学びがあるので、国際人としての素養はすでに身につけて

【Profile】こばやかわ・あきのり (写真左) ●九州製織工業株式会社にて専務取締役、取締役副社長を務め、昭和52年に退職。同年に社団法人福岡県中小企業経営者協会の専務理事に就任し、副会長を併任後、平成9年5月より会長に就き、平成24年6月より現職へ。九州インターナショナル推進協議会理事長、九州経済フォーラム理事長など数々の重責も兼任する。昭和21年生まれ。

【Profile】わかほら・どうしょう (写真右) ●昭和57年より龍谷大学短期大学部講師に就き、助教授、教授、短期大学部長、短期大学部専攻科長を経て、平成15年4月に龍谷大学副学長へ就任。平成19年に同大学学長に就任し、平成24年4月より現職へ。専攻分野は教育哲学。共著「社会福祉と仏教」、「教育の原理と課題」等。これまで、日本私立大学連盟理事などを歴任。昭和22年生まれ。



お二人の話は、大学進学以前の教育の在り方でも白熱。勉学以外の遊びや進路決定まで

小早川 そういった意味で、指導力を向上させるために、先生方もぜひインターシップを経験されてみてはいかがでしょうか。私のところでお引き受けします。教育の現場を離れて、社会の現場で新たな経験を積まれば、さらに自信を持つて学生の進路選択にアドバイスができますよ。

**多様化している学生に、望まれる教育とは**

若原 先生方が学生に与える影響

は大きく、確かに自身が社会をどれだけ理解しているかは重要だと思えます。また、大学全入時代を迎え、入学してくる学生の個性や考え方が、価値観、学力にバラつきが大きく、今まで以上に一人ひとりに行き届いた、丁寧な教育も必須になってきました。具体的には、ゼミなどを通じた、学生一人ひとりの顔が見える講義内容の充実や、社会活動やボランティアなど、各人が目標を見出すことのできる環境づくりに取り組んでいます。

小早川 ミスリードしないように

先達に学ぶことも大事ですね。法隆寺の宮大工、西岡常二氏は「木は育った場所によってクセが違う。南に育った木は南に、北に育った木は北に使う。それが耐久性に富む家づくりになる」とおっしゃっています。「植樹すれば、大量の良質材は育つけれど、銘木は自然林にしか育たない」とも。人工林は災害や病気にも弱い。画一的な教育体験しか持たない学生にも同じようなことが言えるのではないのでしょうか。

「人生観や仕事観に沿って  
企業を絞り込んだ就職活動を」 (小早川)



おられますよ。

**若原** ありがとうございます。私も105年に渡り、浄土真宗の教えをベースに女子教育を貫いてきたことこそが、本学園の強みだと思っております。また、建学の精神によって、明確に特色をアピールし、人間教育の部分を打ち出すことができるのも本学ならではのと思っています。これからは仏教の教えを基本に、学園のスローガンである「しなやかで、ゆるぎない」女性を育成していきたいと思っています。

**小早川** 御校の「校風」は、先達の「おもい」や「ねがい」の結晶であり「資産」でもあります。教職員自ら御校の資産価値を再認識し評価して、学校を挙げて、そのところをアピールされると、きっと学生の採用率のさらなるアップに繋がると思っています。国内外を問わず、国際人として生きていく素養を兼ね備えた学生。それが御校の財産ですからね。

**若原** 日本は近代化によって豊かになり、生活水準は向上しましたが、既に様々な局面において、困難な課題に直面しています。そんな時代だからこそ、本学が果たすべき役割はより大きくなっているのかもしれない。自信を持って学生を育て、これからの社会に送り続けていきたいと思っています。本日は貴重なお話をありがとうございました。

## Part-2 高校・中学校

### インタビュー

# 他者との関係の中で自分の夢を描く

筑紫女学園中学・高等学校 校長

なかしま としあき  
**中嶋 利昭**



「被災地では、地元の方や西本願寺のボランティアセンターの方と触れ合い、お話を伺うことも、学びの一つ」と語る中嶋校長。

一般に「進学校」として知られる、筑紫女学園中学・高等学校。しかし、本校では単に進学対策等に注力するだけではなく、むしろ、生徒一人ひとりが「社会人になった時のこと」を見据えた指導を行っています。今回は、その一端に通じるエピソードも交え、中嶋利昭校長に進路指導への考え方を伺いました。

### 希望大学進学後、 進路に悩む生徒の話から

先日、校長室に一人の卒業生がふらりとやってきました。数年前に国立大学の医学部に進学した生徒です。訪れたわけを尋ねると、在校当時お世話になった図書館の先生を訪ねた際「校長先生と話してみたら？」と勧められたとのこと。医学部に進学したものの、自分が目指すものが見えなくなり、1年間休学をした、というのです。私は「東北の被災地へ行ってらんな。なぜ医師が必要なのか

が分かると思うよ」と語りかけました。その後、再び図書館に立ち寄った彼女は「二歩踏み出してみます」と言いつて帰ったそうです。

彼女に必要なだったのは、他者や社会のために自分の能力を活かし、役割を果たす、という意識でした。東北へ行き、「苦しむ人たちを救いたい」という気持ちになれば、また歩み始めることができるでしょう。そうなるように願うばかりです。また、この一件は、進路指導の課題を改めて痛感するものでもありました。

## 人から、場から感じ取ったことをゆるぎない進路選択の指針に

### 他者や社会に貢献する 喜びを伝えたい

全入時代を迎えた今、大学を選ばなければ、ほぼ進学は可能です。こうした中、東大をピラミッドの頂点とする難関大学を目指す生徒がいる一方、大学入学後の学力保証に苦慮する生徒もいるという、進路の二極化が進んでいます。

ただし、いずれも課題は同じです。それには、自分の将来像を思い描き、大学へ進む目的を理解させることです。他者のため、社会のために貢献で

きた時ほど、大きな喜びや生きがいにつながることを伝えなければならぬと思います。

社会全般に余裕がない現在、高校でも「3年後に現役で！」と最短経路で目的地を目指すざるを得ないため、社会と関わる機会の少ない生徒たちは、ともすれば目先のことで大学を選び、その先を描けないまま巣立つていきます。そのような生徒をなくすには、高校時代に、あるいは中学の頃から社会との繋がりを感じ、そこに自らの将来を重ねられる機会を与えなければなりません。

## 生徒の「進路選択」をサポートする 本校の取り組み例



### 【進路講演会・卒業生との懇親会】

専門家や卒業生を招き、「将来を見据えた学びをいかに考えるか?」「受験勉強の進め方」など、役立つ話を伺います。また、中学・高等学校では中学3年次から、高等学校では高校1年次から進路研究を始めるなど、早い時期から「社会人になった時のこと」を意識させる進路指導を行っています。

### 【オリジナル「CJ手帳」】

教育現場において高い評価を得ている「能率手帳スコラ」を導入。テストや提出物の期限など、学校生活に必要なことをメモしたり、学習計画の組み立てやスケジュールの自己管理ツールとして役立てています(購入は希望制)。

また、本校では、大学の出前授業「追夢(タイム)講座」を行っています。今年、初めて卒業生の医師による講義が実現しました。5月に開始したチューター制度では、九州大学で学ぶ卒業生が放課後に生徒たちの

質問に答えてくれていきます。第二線で活躍している先輩や、一歩先を歩む先輩の姿は、生徒たちにとって将来のモデルです。きつと何かを感じ取ってくれることでしょう。

そこで、新たな取り組みの一つとして、10月に東北の被災地で40人の生徒がボランティア活動をするにしました。この「東北ボランティア研修旅行」は、被災地支援が大きな目的ですが、それ以上に生徒自らの生き方・在り方を決める時と、場になると私は思っています。嬉しいことに、その効果は既に表れています。被災地に行く決めて、「社会の役に立つためには、まず自分の足元を固めなければ。だから勉強しようと思う。」と、学習意欲に火が付いた生徒もいるのです。

105年の歴史を持つ本校には、素晴らしい卒業生が大勢います。今後は、そういう方々と在校生との接点を増やすとともに、社会との繋がりを感ずる場を設け、10年後、20年後の自分を考えてもらいたいと思えます。そうした中で、自分に自信を持てずにいる生徒には、多様なものさしがあることを示し、被災地で一本の釘を拾うような行動の積み重ねが、社会を支えていることを感じ取ってもらえれば、先々どのような職業を目指そうとも、道に迷うことはないでしょう。そして、その道を拓いていく想いに、命を尊ぶ本学園の建学の精神を重ねることで、筑女生の歩みは、より確かなものになると確信しています。

## 被災地や先輩に学び、 建学の精神を重ねる

質問に答えてくれていきます。第二線で活躍している先輩や、一歩先を歩む先輩の姿は、生徒たちにとって将来のモデルです。きつと何かを感じ取ってくれることでしょう。

## 2013(平成25)年度入学試験要項

学校名	学部・学科・専攻・コース	定員・募集人員	入学試験の種類	願書受付期間	試験日	合格発表日
大学院	人間科学研究科	10名	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試 学内進学入試	1期 2012年10月 1日(月)～10月 9日(火)	10月14日(日)	10月23日(火)
			2期 2013年 2月 1日(金)～ 2月 7日(木)	2月14日(木)	2月22日(金)	
大 学	【文学部】 日本語・日本文学科 英語学科 英語メディア学科 アジア文化学科	100名 100名 100名 80名	指定校推薦入試	2012年10月29日(月)～11月 2日(金)	11月11日(日)	11月22日(木)
			公募推薦入試	2012年10月29日(月)～11月 2日(金)	11月10日(土)	11月22日(木)
			自己推薦入試	1期 2012年11月26日(月)～12月 3日(月)	12月 9日(日)	12月25日(火)
				2期 2013年 2月25日(月)～ 3月 6日(水)	3月11日(月)	3月19日(火)
			一般入試(前期日程)	2013年 1月 7日(月)～ 1月23日(水)	1月29日(火)	2月13日(水)
	【人間科学部】 人間科学科人間関係専攻 発達臨床心理コース 社会福祉コース 人間科学科人間形成専攻 初等教育コース 幼児保育コース	70名 60名 50名 50名	一般・センター併用型入試	2013年 1月 7日(月)～ 2月 4日(月)	—	2月15日(金)
			一般入試(後期日程)	2013年 2月14日(木)～ 2月26日(火)	3月 2日(土)	3月12日(火)
			得意科目1教科型入試	2013年 3月 1日(金)～ 3月16日(土)	—	3月22日(金)
			大学入試 センター試験 利用入試	1期 2013年 1月 7日(月)～ 2月 4日(月)	1月19日(土)・20日(日) 大学入試センター試験 ※本学での個別試験は課さない	2月15日(金)
				2期 2013年 2月13日(水)～ 2月22日(金)		3月 1日(金)
3期 2013年 3月 1日(金)～ 3月16日(土)	3月22日(金)					
短期 大学部	現代教養学科 幼児教育科	50名 100名	編入学試験・ 社会人特別入試	1期 2012年10月 1日(月)～10月 9日(火)	10月14日(日)	10月23日(火)
			2期 2013年 2月 1日(金)～ 2月 7日(木)	2月14日(木)	2月22日(金)	
高等学校	普通科	80名 (特進5名を含む)	専願入試	2013年 1月16日(水)～ 1月18日(金)	1月22日(火)	1月24日(木)
		230名 (特進80名を含む)	一般入試(前期)	2013年 1月24日(木)～ 1月30日(水) ※土日は除く	2月 1日(金)	2月 5日(火)
		50名 (特進5名を含む)	一般入試(後期)	2013年 2月 6日(水)～ 2月 8日(金)	2月 9日(土)	2月13日(水)
中学校		約220名		2012年12月17日(月)～1月8日(火)必着 ただし、2012年12月28日(金)～1月6日(日)の受付はいたしません。	1月10日(木)	1月12日(土)
幼稚園			ホームページで お知らせします	2012年11月 1日(木)	<面接日> 11月初旬を 予定	—

●入試要項の詳細はホームページでも紹介しています。[ホームページアドレス] <http://www.chikushi.ac.jp>

大学・短期大学部一般入試(前期日程)の試験会場は、本学以外にも北九州・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島があります。大学では外国人特別入試、海外帰国生特別入試も実施します。詳しくはホームページをご覧ください。



The Wonderful Behavior of CJ-Students

# やるネ! 筑女生

勉強をはじめ、さまざまなことに積極的に取り組む筑女生の活躍ぶりを紹介するコーナー。今回は「学生スタッフ」をはじめ、さまざまなことに取り組む大学生と、ポイスカウト活動で最も名誉ある章を受章した高校生に登場していただきました。

## 01

【大学】

### 学生スタッフ、ノートテイク、 震災ボランティア… さまざまなことに取り組んできた2年半

山崎茜さん(大学/人間福祉学科3年)



学生スタッフのリーダーとして、オープンキャンパスで高校生にメッセージを送る様子。



**失敗からしか  
学べないことも  
実感しました**

**「私**のやりたいことって、  
なんだろう?」——  
この疑問から、私の大学生活  
は幕を開けました。

1年生の時は、とにかく何でもやってみよう!と思い、まずはオープンキャンパスをサポートする「学生スタッフ」から挑戦しました。それをきっかけに、聴覚障がいを持つ学生の代わりにノートを取る「ノートテイク」を始め、その学生とたくさん話をしたいと思い「手話サークル」の活動を始めました。

2年生の時には、大学が企画した「東北岩手震災ボランティア」への参加を決意。その他にも託児所や障がい者施設でのボランティア活動を行っています。

これまでの2年半を振り返って、一番自分自身を変えたと思うのは、「学生スタッフ」の活動です。2年生の時にリーダーに就任し、300人規模の団体を動かしていく難しさを知りました。イベントではたくさん失敗し、自分の不甲斐なさに涙する日もありました。好きだった活動が嫌いになってしまっただけで、悩め

る日々が続きました。でも、失敗は学生の時にしか出来ない。だからたくさん挑戦して、たくさん失敗して、その失敗からレベルアップした自分を見出していききたい。失敗から学べることに、失敗からしか学べないことがたくさんあることを実感できたと、今、そう考えています。

**未来のために  
今を積み重ねて  
いききたい**

**な**ぜそんなにたくさんさんの活動が出来るのか、ちゃんと休んでいるのか、体調を崩さないのか。私はよく親や友達に心配されます。変な例えですが、私はすべての活動一つひとつを「デート」だと思っています。皆さんも好きな人に会うためなら、無理な予定でもなんとか時間を調整して会いたいと思うでしょうし、いつでも明るく笑顔で全力アタックしませんか?

それと同じです。どんなに忙しくても、その活動が好きであれば時間を調整し、やる時は全力で臨んでいます。時には嫌になってすべてを投げ出したこともあり、でも、今の経験が未来の自分の成長に繋がっていると思うと、どんなに辛いことでも乗り越えることが出来ます。

「私のやりたいことって、なんだろう?」この疑問は今でも続いています。人と人と

の関わりが大好きで、誰かの役に立ちたいという気持ちから人間福祉学科を希望しましたが、正直まだとても悩んでいます。現在は、さらに「学園グッズ検討会」にも参加し、商品を企画することの楽しさを学んでいます。このように、私は学生の間に、もっというんなことに挑戦したいです。今日より明日、未来のために、今を積み重ねていききたいと思っています。



左上:小学校での手話ボランティア 右上:岩手での震災ボランティア  
下:学園グッズ検討会では総選挙を開催



# 02

【高等学校】

## ボーイスカウト活動で 最も名誉ある「富士章」を受章

阿部桃子さん(高等学校3年)



「生き抜く力」が身に付いた  
ボーイスカウト活動

ハイク、募金活動などを行って  
います。

10年間の活動の中で、特に

**私**は、7歳の頃からボー  
イスカウト活動を続け  
ています。ボーイスカウトは、  
世界最大の青少年運動で、  
現在161カ国、約3000  
万人の仲間がいます。より良い  
社会人の育成を目的として、  
世界中でキャンプや100km

身に付いたことは「生き抜く  
力」です。予測不可能なこと  
が多い自然の中の野外活動  
を通して、自分で考え、行動  
し、問題を解決する力を養い  
ました。

昨日は、146カ国から3  
万人の高校生が集うスウェー  
デン世界大会に参  
加しました。そこ  
での10日間は、ま  
るで世界の縮図に  
いるかのようでし  
た。文化や人種が  
多様な仲間と触れ  
合う中で、国や言  
語という垣根を越  
えて通じ合えるの  
は「笑顔」と「思いや  
り」だと身をもって  
感じました。そこ  
での出会いは私の  
宝物で、彼らとは  
今でもメールで繋

がついています。  
世界大会での業績やこれ  
までのボーイスカウト活動が  
認められ、今年4月に「富士  
章」という章をいただきまし  
た。これは、決められたプロジ  
エクトを全て達成した人に与  
えられる章で、ボーイスカウ  
ト最高章です。10年間のボ  
ーイスカウト活動を頑張った  
証であり、自分らしさの礎で  
す。来年には、東宮御所や総  
理大臣への表敬訪問が予定  
されています。

現在、高校では生徒会の議  
長をしています。この活動に  
おいても、みんなの意見をま  
とめて問題を解決するなど、  
ボーイスカウト活動の経験が  
活かされていると実感します。

将来は、テレビなどのメデイ  
アを通して、人や物の魅力を  
最大限に引き出して伝える  
「発信者」になりたいです。こ  
れからも、笑顔を忘れずに、  
ボーイスカウト活動の経験を  
必ず活かしていきます。



世界大会は、欧米では五輪や万博と  
同じくらい最大級のイベント。

# 03

【幼稚園】

## 年長さん、ただいま 竹馬に夢中です!

**今**、年長(5歳児)の子ど  
もたちが夢中になって  
いるのが竹馬です。昨年  
の年長さんが取り組んで  
いる姿をそばで見えて  
きたみんなは、憧れて  
いた活動に「いよいよ  
自分の番がきた!」と  
張り切って挑戦し始め  
ました。しかし、足の指  
で竹馬を挟むこと、二  
つにも、指が広がらな  
いように、痛くなくな  
ったり、バランスのと  
り方が難しく倒れてし  
まったりと上手くない  
こと、繰り返して、そ  
れでも「先生、竹馬し  
たい。手伝って!」と  
諦めない気持ちで、少  
しずつ取り組んでいき  
ました。そんな毎日の  
積み重ねから段々と乗  
る感覚をつかめたとき  
、子どもの表情がパツ  
と明るく輝いて、何  
ともいえない表情に  
なります。この子ども  
も自分で感じる手  
応えが、また意欲とな  
って「もう一回!」と  
挑戦する気持ちに繋  
がっていきます。今

は、ジャンプや階段にも挑  
できるようなったり、中  
には教師の背を超すほど  
の竹馬でキリンのように  
悠々と歩く子も!視線が  
高くなることで大きな  
自信が付き、他の活動  
や行事への意欲がグ  
ンと高まっています。そ  
して、自分が出るよう  
になると、頑張っている  
友達にアドバースをし  
たり励ましたり、友達  
にも気持ちを向ける素  
敵な姿を見せてくれ  
ています。

10月にはおうちの方に竹  
馬を使った竹馬を作ら  
せてもらいます。自分  
の竹馬を手にした子  
どもたちの意欲はさ  
らに高まって、大喜  
びで挑戦していくこと  
と思います。きょう  
幼稚園の中には、キ  
リンがいっぱいにな  
りますよ!楽しみで  
す。

幼稚園教諭 片岸 祐子



こんなに乗れるようになったよ!



The Report of Dazaifu Campus

# キャンパス通信

vol. 02

大学・短期大学部

大学・短期大学部でアクティブに活動する学生たちの姿を紹介する本コーナー。今回は、学内で「PCアシスタント」としてがんばる学生からのレポートです。



現在登録しているPCアシスタントは、約20名。



## 学内でPCアシスタントとして がんばることでスキルアップに！

瀬里 美優さん(大学/日本語・日本文学科4年)

**私**がPCアシスタントのアルバイトを始めたきっかけは、先生からの紹介と推薦でした。それまで学生アルバイトをすることは全く考えていなかったため多少不安もありましたが、これも大学でしか出来ないことのひとつだと思い、決心しました。

学生アルバイトは、大学の講義がない時間に大学内で出来るのが魅力です。また、分からないことがあればスタッフの方が丁寧に教えてくださるので、安心して仕事ができます。

このアルバイトの業務内容は主に、1年生の授業でパソコンのアシスタントを行う授業補佐、自習室でのアシスタント、メンテナンスタブやデータ入力などの事務作業の3つです。どれも大切な業務ですが、その中でも授業補佐は、まず自分が内容をしっかりと理解していないと対応できません。さらに、それを分からない人にどのようにして分か

りやすく教えるかという点で、とても難しい仕事です。相手が知りたいこと、自分が伝えたいことを分かりやすく的確に伝えることの難しさ。それが、私がこのアルバイトで実感したことの一つです。また、アルバイトをやっている学生さんからの質問にうまく答えられず自分の力不足に落ち込むこともありましたが、その反省を生かして知識を増やすこともできます。

それは、授業を受けているだけでは気づけなかったことに気づけるということです。このように、PCアシスタントはスキルアップのチャンスにもなっています。

大学でしかできないことは数多くありますが、スタッフとして動くことで、学生という立場からは見えなかったことが見えてくる。これは、なかなか経験できないことではないかと思っています。そんな貴重な経験を出来ていることが、とても嬉しいです。

2012.5~8

## 放送部

## 【福岡県高校放送コンテスト 福岡県大会】

- 6月3日・福岡県
  - アナウンス部門
    - ・優勝 坂本 麻沙子
    - ・2位 濱崎 彩花
    - ・5位 渡邊 柚里
  - 朗読部門
  - 制作テレビドラマ部門
    - ・優勝 「シンデレラプレスレット」
    - ・奨励賞 「ドラマ制作の問題解決」
  - 校内放送活動研究発表
  - 総合部門
    - ・総合優勝

## 【NHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会】

- 7月24~26日・東京都
  - アナウンス部門
    - ・準々決勝進出 坂本 麻沙子
    - ・準々決勝進出 濱崎 彩花
    - ・準々決勝進出 渡邊 柚里
  - 朗読部門
  - 制作テレビドラマ部門
    - ・準々決勝進出 「シンデレラ プレスレット」
  - 校内放送活動研究発表
    - ・研究奨励賞 「ドラマ制作の問題解決」

## 百人一首部

## 【全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会】(個人の部)

- 7月28日・滋賀県
  - A級
    - ・4位 鶴田 紗恵
  - B級
    - ・3位 井上 麻帆
    - ・4位 諸隈 美紗稀
  - C級
    - ・4位 池田 純香
  - D級
    - ・2位 日野 梓光
    - ・3位 副島 ななせ
- 【全国高等学校総合文化祭】(小倉百人一首かるた部門)
  - 8月10日・富山県
    - 優秀読手 東 衣里香

## 文芸部

## 【全国高等学校総合文化祭】(文芸部門)

- 8月8~12日・富山県
  - 文芸部誌部門 佐藤 美貴
  - 散文部門 新穂 朝香

## 中学校

## 剣道部

- 【中体連福岡市大会】
  - 団体戦
    - ・ベスト8
  - 個人戦
    - ・3位 石村 千夏

## 卓球部

## 【中体連福岡市大会】

- 個人戦(1年の部)
  - ・ベスト16 瀬尾 彩月、大淵 美亜

## 水泳部

## 【中体連福岡市大会】

- 【中体連福岡市大会】
  - 50m自由形
    - ・3位 桑原 さくら
  - 100m自由形
    - ・5位 桑原 さくら
    - ・10位 (桑原→永田→平山→春口)
  - 400mリレー

## 【中体連福岡県大会】

- 50m自由形
  - ・16位 桑原 さくら
- 100m自由形
  - ・14位 桑原 さくら

## 音楽部

## 【第79回 NHK全国学校音楽コンクール 福岡県コンクール】

- 8月8日・福岡県
  - 金賞

## 【第79回 NHK全国学校音楽コンクール 九州・沖縄ブロックコンクール】

- 8月24日・福岡県
  - 金賞(全国大会出場)

# がんばる! クラブ

vol. 18

中学校 / 音楽部

それぞれの活動に充実した時を重ねる生徒たちの様子をお伝えするこのコーナー。今回は、夏から秋に控えた2つのコンクールに向けて練習にも一層熱が入る、中学校の音楽部におじゃましました。



部員構成

- ・3年生 23人
- ・2年生 16人
- ・1年生 41人

コンクール成績 ほか

- 第64回 全日本合唱コンクール  
全国大会・銀賞
- 紫苑祭でのミュージカル公演
- 仏教行事における聖歌隊  
としてのお勤め ほか

指導者インタビュー

## 素晴らしい音楽を通じて 人とふれあう喜びを

音楽は人と人の心をつなぎ、元気や支えになるもの。コンクールで高みを目指しつつ、その素晴らしさにふれ、協力や思いやりの心を育ててほしいと願っています。ただし、壁を乗り越えるためには「やりたい!」と思うことが必要なので、出場について考えてもらいました。結果、彼女たちは問われた意味を理解し、あえて難しい曲に挑戦しています。その仕上がりは指導者ながら感心するほど。強い決意を感じています。

コーチ/安光 桃子 講師



今年、全日本合唱コンクール全国大会への出場が叶えば筑女中学音楽部は、3年連続の快挙となります。防音が施された音楽室のドアを開けると、そこは美しい歌声に空気を染まるようでした。ところが、部長の「楓花さんからは、「出場するかどうか迷いました」と意外な言葉が。「毎年当たり前のような感覚で出場しても意味がないのでは」と安光先生に投げかけられ、「3年生全員で悩んだんです。でも、「思いを新たに挑戦しよう」と決意しました」と語ってくれました。

曲が決まると部員全員が曲の解釈をレポートとして提出し、議論を重ねて1つの表現にまとめていくのが筑女中学音楽部の伝統です。潤さんは、「仲間と、そして聴いている一人ひとりと『歌でつながる』感覚が合唱の魅力ですね。その中で、支え合うことの大切さを知り、自ら動けるようになっていくんです」と瞳を輝かせます。

また、「伝えたい想いがあれば伝わることを実感した」という紫苑祭での経験も大きな糧に。元気いっぱいこの歌声で知られる彼女たちの想いは、全国大会の会場でもきつと多くの人に熱く伝わることでしょう。

歌でつながる感動を原動力に  
支え合い、自ら動ける人へ

## クラブ活動の成果 | 高等学校 & 中学校

### 高等学校

#### 陸上部

##### 【アジアジュニア陸上選手権大会】

- 6月11日・スリランカ(コロンボ)
- 1500m ・3位 由水 沙季

##### 【世界ジュニア陸上選手権大会】

- 7月10~15日・スペイン(バルセロナ)
- 1500m ・11位 由水 沙季(日本高校歴代5位)

##### 【2012北信越かがやき総体~平成24年度 全国高等学校総合体育大会】

- 7月29~8月2日・新潟県
- 800m ・5位 由水 沙季
- 1500m ・2位 由水 沙季
- 400mH ・準決勝進出 堀田 瑠紗
- 800m ・準決勝進出 山下 未来

##### 【第67回九州陸上競技選手権大会兼第97回日本陸上競技選手権大会予選】

- 8月17~19日・大分県
- 400m ・6位 堀田 瑠紗
- 8位 古賀 早貴
- 800m ・3位 清水 真帆
- 400mH ・3位 堀田 瑠紗

- 100mH ・6位 江崎 望
- 400mR ・6位 (松田→古賀→中村→上野)

#### ハンドボール部

##### 【平成24年度 全九州高等学校体育大会・第62回 全九州高等学校ハンドボール競技大会】

- 6月16~17日・宮崎県
- 1回戦 本校 33-29 国分(鹿児島県2位)
- 2回戦 本校 33-31 神埼清明(佐賀県1位)
- 準決勝 本校 17-25 那覇西(沖縄県2位)
- ※九州大会3位

##### 【2012北信越かがやき総体~平成24年度 全国高等学校総合体育大会】

- 7月30日・新潟県
- 2回戦 本校 24-30 洛北(京都)

#### 空手道部

##### 【第28回 火の国旗 全国高校空手道優勝大会】

- 5月4日・熊本県
- 女子団体 組手 ・ベスト16 加藤 麻衣(5人抜き)

##### 【平成24年度 福岡県高等学校総合体育大会空手道選手権大会】

- 6月2~3日・福岡県
- 女子団体 組手 ・ベスト8
- 女子個人 組手 ・ベスト16 花元 希望子

#### テニス部

##### 【平成24年度 福岡県高等学校テニス選手権大会】

- 5月12~13日・福岡県
- 女子シングルス ・7位 山上 咲

##### 【平成24年度 福岡県高等学校テニス大会】

- 6月2~3日・福岡県
- 女子団体 ・3位

##### 【第46回 夏季九州一山口高校生学年別テニス大会】

- 7月28~30日
- 女子団体 ・3位

#### 水泳部

##### 【第34回 福岡県高校春季選抜選手権】

- 5月19~20日・福岡県
- 400m個人メドレー ・決勝11位 志岐 珠実
- 200m個人メドレー ・決勝16位 志岐 珠実

##### 【平成24年度 福岡県高等学校体育連盟総合体育大会水泳競技選手権大会兼第60回 全九州高等学校水泳競技大会予選会】

- 6月16~17日・福岡県
- 400m個人メドレー ・決勝12位 志岐 珠実



# 【大学&短期大学部】 OGと上司に何う「筑女生のこと」 就職の筑女

The Success Story of Finding Work

vol. 23

本学卒業生をご採用いただいている企業へ何うこのコーナー。今回は、全国に「ララシャンス」ブランドでゲストハウス・ウェディングを展開するアイ・ケイ・ケイ株式会社で活躍中の本学OG、井川麻美さん、そして上司の近藤裕美さんにお話を伺いました。

アイ・ケイ・ケイ株式会社  
「ララシャンス」博多の森「ウユ・バリ衣裳室」

ドレスコーディネーター チーフリーダー 井川麻美さんの巻



平成18年、短期大学国文科卒の井川さん。「5月と8月に級友の結婚式を担当し、学生時代の友人のお手伝いをする事ができました」と嬉しそう！

今も「感恩」を心に刻み  
佳き日を最良の形へ

「ス」 タッフ一人ひとりが  
自分の力を発揮して  
お客様に喜んでいただき、  
成果を出し続ける環境を  
つくっていききたい。そう  
語る井川さんは、新郎新婦  
の衣裳選びをサポートす  
るドレスコーディネーター  
であり、その数字を管理する  
チーフリーダー。入社3年目  
でいわき支店(福島県)の立  
ち上げを経験し、福岡へ戻っ  
て2年が経ちました。

「異動は自分を厳しい環  
境に置く大きなチャンス。  
そう思っただけで頑張りました。  
結婚式は一生に一度の大  
切な日なので、こちらから  
信頼を築き、最良の形で佳  
き日を迎えていただきた  
いと願っています。そん  
な毎日の中で、筑女時代に  
学んだ仏教の教えが実感  
として蘇ると話してくれ  
ました。自分を見つめる  
ために短大への進学を決  
め、筑女のホームページを  
見て、「この落ち着いた環  
境なら心静かに学べる」と  
思っただけでした。仕事で  
も感恩の気持ち大切に  
しています」

自分を知って見つけた  
熱い想いを原動力に

「た」 だ、ご自身の就職活  
動を振り返るとやり  
たいことが見つからず悩ん  
だ日々もあったとのこと。  
級友と結婚式への夢を語り  
合いながら、その楽しげな  
様子に「これだ！」と思い、  
ようやく動き出したのは2  
年生の4月頃でした。「自分  
を知るために長所と短所を  
びっしりと書き込んだ当時  
のノートを見ると、今も志  
を確認し、原点に立ち返る  
ことができる」と語ります。

「就職活動を前に、自分の  
どういうところをどう社  
会に役立てたいかと考え  
抜きました。その答は「恩返  
し」。私がつけているのは熱い  
想いだけでしたが、「人の役  
に立ちたい」と強くアピ  
ルできたことを評価して  
いただけたのだと思いま  
す」  
話しているところらま  
で元氣になってくる井川  
さんの印象は、ゆるぎなく、  
明るく、パワフル。その人柄  
が照らす華燭の典はきつ  
と素晴らしいものに違い  
ありません。

上司の方に  
伺いました

素晴らしい先輩たちの  
後に続いてください

衣裳部スーパーバイザー 近藤裕美さん

「お客さまの感動の  
ために」という  
経営理念のもと

新郎新婦の想いを汲んで

ピンチの時ほど力を発揮  
し、芯がぶれず、人を惹  
きつける魅力を持っている

「これが私の井川さん評で  
す。いわき支店の立ち上げで  
も期待に応え、今では私の頼  
れる存在となってくれまし  
た。また、上下の橋渡し役と  
しても活躍してくれていま  
す。最年少でチーフになり  
たのも当然と言えるでしょう。

「私は、人材ではなく、人  
財への成長をバックアップ  
する人事制度・研修プログ  
ラムの充実を図り、国籍性  
別年齢・経験に関係なく責  
任ある職務を与えています  
が、彼女は今や、まさに人材。  
また、彼女の他にもリーダー  
シップを発揮している筑女  
出身者が多く、「おとなし  
い」という筑女のイメージ  
が変わりました。

ところで、イメージとい  
えば、ウェディング関係の  
職場は女性が多いので、人  
間関係に不安を抱く学生さ  
んも少なくないようです  
が、我社は本音で議論し、後  
を引かない社風です。そう  
でなければ、新郎新婦の親  
御さんやゲストに対する想  
いを形にすることはできま



「何事もお客さま目線で考えるのが我社の信条です」と語る近藤さん。

「2013年卒マイナビ大  
学生就職企業人気ランキン  
グ(九州エリア)」において、  
総合3位を獲得することが  
できました。これからも我  
社は、素直さ・謙虚な気持  
ち、強い思い、芯の強さを持  
つ未来の人財を求めています。  
筑女生の皆さん、自分に  
限界をつくらず何事にも挑  
戦し、その自信を胸に我社  
の門を叩いてください。素  
晴らしい先輩たちが待つて  
います。」

## 今回の職場

- 社名: **IKK WEDDING**  
アイ・ケイ・ケイ株式会社
- 設立: 平成7年11月1日
- 資本金: 336,568,000円
- 事業所数: 13カ所
- 従業員数: 連結/496名、単体/470名  
(平成23年10月31日現在)
- 平成24年度新卒者採用実績: 41名
- Webサイト: <http://www.ikk-grp.jp/>

# 卒業生からの手紙

## 親子二代で筑女の幼稚園へ 不思議なご縁に感謝しています

vol. 5

幼稚園OB 中村哲也さん(歯科医師)

### 当時と変わらぬ風景

**都** 心がありながら、自然豊かな筑女幼稚園を卒園して34年。

現在長女が年長さくら組に、長男が年少さくら組にそれぞれ元気に通わせてもらっています。子どもたちと一緒に、久しぶりに登園してみると、急な傾斜は相変わらずですが、園へとつながる坂道とテニスコートが入れ替わっていたり、はと組1クラスだった年少さんの教室が増築されていたり、駆け回って遊んだ園庭が狭く見えたりと、時の流れを実感します。

けれども、登ったはいいものの降りられなくなったテラスの屋根や、クーラーがついたほかは変わらない教室、お世話になった先生方も変わりなく、昔にタイムスリップしたようでした。また、同級生や高校時

中村さんの思い出の1枚



降りられなくなったテラスの前で



親子二代で筑女っこです。

代にお世話になった美容師さんの二世が同じクラスになり、歴史ある幼稚園ならではの不思議なご縁もありました。

かつては腐葉土を取りに入った裏山も、先生方や保護者の皆さんのご尽力で、安全に元気に遊びまわれる魅力いっぱい「響流の森」に整備され、子どもたちもさらにたくましさを増したように思います。

### 懐かしい絵本との再会

**子** どもたちがよく幼稚園から絵本を借りてきます。「あれ？その本見たことある。どうしたと？」と聞くと、「幼稚園から借りてきた」と答えが返ってきます。「パパもそれ読んだことある。持ってたよ」というと「本当に?!」と嬉しそうな顔を見せます。

長女が幼稚園に通い始めてから、実家の書架をのぞき、段ボール3〜4箱の絵本を探し

出しました。大事に保管してあったものです。30年ぶりに陽の目をみた絵本は、私の子どもたちの手でめくられ、読まれ眺められ、本棚に並べられています。裏表紙に先生の

手で名前が書かれた「こどものとも」「かがくのとも」は、色褪せることなく現在も大活躍しています。

絵本の読み聞かせは、幼稚園や家で毎日してもらった記憶があります。私が大好きだった『ロボット・カミイ』『いやいやえん』は、繰り返し読んでもらいました。

現在の教室は、蔵書も増え、読み聞かせや劇発表会で子どもたちと深く関わっています。子どもたちも大切な宝物として、次世代につなげていってほしいものです。

### み仏様へのお参りから感謝の気持ちに

**毎** 朝、家を出る前にお仏壇に手を合わせる私の習慣が、子どもたちにも受け継がれ、物心ついた時から一緒に手を合わせています。

幼稚園でも、礼拝や正門での一礼、園長先生のお話を聞くことでみ仏様を身近に感じることがなくなってきてくれています。これから先、人とのご縁や感謝の気持ち忘れずに、育ってほしいと願います。



【Profile】なかむら・てつや

●1979(昭和54)年卒園。福岡歯科大学、九州大学大学院を経て、現在、中央区大名の中村嘉明歯科医院にて院長である父と共に臨床の現場に立ちつつ、大学での研究活動も継続中。日本外傷歯学会認定医、日本小児歯科学会会員、日本歯科人間ドック学会認定医、国際歯周内科学研究会会員。

### 支えびとさん、登場!

vol. 2

素晴らしい「筑女の杜」の環境を維持するため、毎日全力を傾けています

田中良一さん(大学短期大学部/事務員)

**平** 成20年から事務員として勤務し、もうすぐ4年になります。毎日の業務は、営繕と清掃業務で、女性11名の中で黒一点?女性軍のパワーにいつも圧倒されています。中でも、草刈りの作業は、一つの面が広く、傾斜が急なので、最大の注意を払って作業しています。また、室内業務中には時折、筑女フィルハーモニー管弦楽団の演奏が聴こえてきたり、瀧刺とした部活動の皆さんに会うたびに元気をもらっています。

思い出深い出来事としては、卒業前の保育士課程の皆さんから、我々全員に小さな手製の封筒が届いたことです。中には、手作りのカードとキャンディーが入っており、「お掃除の皆様へー!いつも学校を美しくしていただき、ありがとうございます♡」と書いてありました。きつと皆さん、心根の美しい素晴らしい先生にいられていることでしよう。これからも、自分の気力、体力と相談しながら、高雄山の懐に抱かれた「筑女の杜」の素晴らしい環境を維持するために、毎日全力を傾けていくつもりです。



中央下が田中さん。時折、悪味のおカリナやフルートを弾いています。



注目の学園ニュース

# CJホットピックス



今年度のプロジェクトに採択された学生たち。

**キャンパスや地域について自分たちで考える**  
**学** 生チャレンジプロジェクトは、キャンパスの活性化や地域貢献について学生自身が企画・立案・運営する活動

## 1 大学・短大

がんばっています！学生自身が企画・立案・運営の全てを行う「学生チャレンジプロジェクト」

です。企画の精度よりも、主旨と熱意で選考され、採用されると最大30万円の予算が与えられます。プロジェクトの運営を通して、企画を書面に表現する力、仲間や外部の方と交渉する力、準備期間を調整し時間を管理する力といった社会で求められる人間力が磨かれることを狙っています。昨年度は、

①高雄山ともいきの森プロジェクト

②復帰支援プロジェクト「学校へ行こうよ」

③小学生とスポーツを楽しむもう！

の3件が採択され、本学の裏山の生態調査や山道の整備に励み、「高尾山植生図鑑」を完成させたり、対外的な交渉を重ね、無事にイベントを成功させました。今年度は、次の2件が採択されました。

①WE♥KIDS ～学生の学生による学生のための保育事業～(代表:発達臨床心理学科4年 田中和紀子)



「花ガール」たちの活動の様子。

②「花育てよう、花が好きだよ、花ガールだよ」プロジェクト(代表:日本語 日本文学科3年 北弥生)

田中さんたちは、教材制作や地域の子育てボランティア参加、学園祭での遊びの広場の提供などを通して実践的・複合的に保育について学んでいきます。北さんたちは校内に花をいっぱい植えることで、学園の雰囲気華やかにしたいと考えています。10月の学園祭では中間発表を行い、2月に最終成果報告会が開催されます。

## 2 中学・高校

ニューヨーク州立大学からの短期留学生との交流会

外国や英語に対する興味・関心が一層高まった生徒たち

7月18日、筑紫女学園大学に短期留学していたニューヨーク州立大学の学生4名を中学、高校に招き、交流会を行いました。

まず、中学、高校の生徒会役員が校内を案内しましたが、特に枯山水の庭園など日本特有の文化を英語で説明する難しさを痛感していました。その後、中学3年と高校2年の教室で、「アメリカの文化・生活を知ろう」をテーマに交流会を開催しました。前半は、すべて英語で会話をすることに、伝えきれないもどかしさを感じていたようですが、後半は、日本語と英語の両方を使い、話題も限定しないことで、さらに会話は盛り上がりました。

にない生きた英語に触れることができ、英語を勉強したいという意欲が高まりました。「自分の思いを伝えることの難しさを感じましたが、実際のニューヨークの生活をたくさん聞くことができ、貴重な経験ができました」などの感想が寄せられました。

このような異文化交流は、単にその国を知るだけでなく、日本の文化や生活思考様式と他の国との共通点や独自



アニメなど共通の話題で盛り上がりました。

性に気づくことにも繋がり、大変有意義なことです。今後も生徒の視野を広げ、国際感覚を磨いてもらうために、国際交流の機会をできるだけ増やしていきたいと考えています。

「中学 高等学校教頭 中尾明彦」

**第45回紫友会総会**  
6月9日第45回紫友会(同窓会)総会が、筑紫女学園大学飛翔会館において盛大に開催され、65名が参加されました。



各校・幼稚園のウェブサイトに「CJ」フォトピックスに掲載した情報の詳細を掲載しております。そちらも併せてご覧ください。



### ステキ社会人の本音トーク

5月25日、筑女式県人会「CJK」主催で、株式会社電通九州の坂田朋子さんをお招きして、女性としての生き方を伺うイベントを開催しました。



### ソフトテニス部2大会連続の3位入賞

6月17日の全九州学生団体戦、23日の九州地区大学体育大会において、2大会連続の3位入賞を果たしました。



### ソフトバンクホークス野球観戦

6月22日、7月4日、筑女式県人会「CJK」主催で、約500名の筑女生がソフトバンクホークスの観戦に行きました。



### 博物館見学実習

5月26日、博物館学芸員資格の実習のため、田川市石炭・歴史博物館と飯塚市の旧伊藤伝右衛門邸を見学しました。



### 福岡市私立幼稚園連盟『就職キャラバン隊』来校

6月21日、『幼稚園就職説明会』を開催し、幼稚園の魅力や現状、採用試験に関することなどについて講演していただきました。



### 後援会総会・保護者懇談会

6月23日、保護者懇談会、後援会総会、就職セミナー、個別面談会を本学において開催し、165名の方が出席されました。

写真で見る筑女生の「今」  
**CJ フォトピックス**  
大学・短期大学部  
University Junior College



### 剣道部ベスト16入り

5月26日、第27回西日本女子学生剣道大会(団体戦5人制)において、98校中ベスト16入りを果たしました。



### 浄土真宗本願寺派との募金活動

6月22日、浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会と本学の学生が福岡市天神のバルコ前にて、東日本大震災の募金活動を行いました。



### 「JALのおもてなしを学ぼう」研修会

6月28日、元客室乗務員の講師の方をお招きし、身だしなみや言葉遣い、第一印象の効果と演出などのマナー研修を開催しました。

#### Webサイト情報

● 学園 <http://www.chikushi.ac.jp/>

#### CJストーリーズ

【アクセス】筑紫女学園サイトトップ  
各学校の生徒、先生、卒業生...一人ひとり、一つひとつのメッセージを伝えるサイトが誕生しました。



#### ニュースリリース・CJギャラリー

【アクセスバナー】

ニュースリリースのコーナーを新設し、CJギャラリーを更新しました。

#### ▶ 今後の予定 【大学・短期大学部】

日程	開催内容	開催場所
9月 8日(土)	保護者懇談会	地方会場(鹿児島)
9月15日(土)	保護者懇談会	地方会場(熊本)
9月23日(日)	キャンパス相談会	太宰府キャンパス
10月27日(土)・28日(日)	学園祭	太宰府キャンパス

日程	開催内容	開催場所
10月28日(日)	入試相談会	太宰府キャンパス
12月25日(火)	冬休み開始	太宰府キャンパス
1月29日(火)	一般入試※(前期日程)	太宰府キャンパス
1月30日(水)~	定期試験	太宰府キャンパス

※詳細については、本誌P6をご参照ください。



写真で見る筑女生の「今」

# CJ フォトピックス

高等学校・中学校



High School  
Junior High School

**紫苑祭(文化祭)**  
5月25・26日に、「Action」というテーマのもと、魅力あふれる企画で、日頃の成果を披露しました。



## 能・狂言鑑賞会

5月29日に、高校2年生を対象に、大濠能楽堂にて能・狂言を鑑賞しました。笛や太鼓の音、舞や衣装の美しさに引き込まれました。



## 平成24年度精華会総会

6月2日、ソラリア西鉄ホテルにて、精華会(同窓会)総会が開催されました。330名が出席され、今回は津軽三味線の演奏に酔いしれました。



## クラスマッチ

7月4日、体育館にて中学生のクラスマッチを開催しました。勝利を目指してクラスが一致団結し、熱い戦いが繰り広げられました。



## 体育祭

7月4日、九電記念体育館にて高校の体育祭を開催しました。会場は熱気に包まれ、白熱した競技が繰り広げられました。



## ニューヨーク州立大学生との交流会

7月18日、中学3年生と高校2年生を対象に、国際交流会が行われました。(本誌表紙・P13参照)



## 追夢(ツイム)講座

7月20日、高校生を対象に、本校にて様々な大学の先生による模擬授業が行われました。今年度は年4回実施予定。



## 日本文化体験プログラム

7月20日、父母教師会・国際理解委員会による、浴衣着付けや華道、茶道をたしなむプログラムが開催されました。(本校内茶室「香風亭」にて)



## 「筑紫女学園前」バス停

7月23日、「筑紫女学園前」のバス停が新設されました。通勤時間帯の7時台、8時台に計8本、片道みの運行です。



## サマー語学研修

7月30日～8月1日および8月2日～8月4日に、中学2年生が宗像市グローバルアリーナでサマー語学研修を行いました。

### Webサイト情報

- 高等学校 <http://www.chikushi.ac.jp/hsc/h/>
- 中学・高等学校 <http://www.chikushi.ac.jp/hsc/j/>

【アクセスバナー】

### Chikujō Message

在校生・卒業生のメッセージを伝えるサイトが誕生しました。

【アクセスバナー】

### 筑女の四季

中嶋校長のブログが開設されました。日々の筑女様様をお伝えます。

### ▶ 今後の予定 【高等学校・中学校】

日程	開催内容	開催場所
9月29日(土)	高校 学校紹介見学会	誓固キャンパス
10月20日(土)	高校 体験入学	誓固キャンパス
10月24日(水)	中学 体育祭	九電記念体育館
10月27日(土)	中学 入試説明会	誓固キャンパス

日程	開催内容	開催場所
1月10日(木)	中学 入試 <sup>※</sup>	誓固キャンパス
1月22日(火)	高校 専願入試 <sup>※</sup>	誓固キャンパス
2月 1日(金)	高校 前期入試 <sup>※</sup>	誓固キャンパス
2月 9日(土)	高校 後期入試 <sup>※</sup>	誓固キャンパス

※詳細については、本誌P6をご参照ください。





**なつまつり**  
7月7日、子どもたちが楽しみにしていたなつまつり。甚平に浴衣姿の子どもたちは元気いっぱい盆踊りを踊りました。



**オープンキャンパス**

5月12日、小さなお友達が幼稚園に遊びに来てくださいました。



**年長油山登山**

5月31日、みんなで力を合わせて、油山の頂上を目指しました。頂上から見る景色は最高だったね！

写真で見る筑女生的「今」

# CJ フォトピックス

幼稚園

Kindergarten



**泥遊び**

6月8日、雨の日の翌日の砂場は、子どもたちに大人気です！道を作り、船を浮かべて…どんどん発想が膨らみます。



**こーるの森遊び場作り**

6月9日、有志のお父様方のお陰で、立派なウッドデッキが出来上がりました！大切に使用してもらいます。



**父の日のプレゼント**

6月14日、年長さんの父の日のプレゼントは、手作りクッキーです！世界で一つだけのお父さん似顔絵クッキーです！



**年長お店屋さん**

6月29日、「いらっしやいませ〜」があちらこちらで響き渡り、年長さんのお店が開店しました！



**年長味噌作り**

7月3日、お手伝いのお母様に協力してもらい、自分たちのお味噌を作りました。3ヶ月後が楽しみです。



**プール遊び**

7月13日、暑い日はプール遊びに限ります！！子どもたちはすっかりお水と仲良しです。



**年長サマーキャンプ**

7月18日、年長さん全員で幼稚園に1泊お泊りしました。心も体も成長しましたよ。

**Webサイト情報**

●幼稚園 <http://www.chikushi.ac.jp/knd/index.php>

**みてみて！げんきな筑女っ子**

【アクセスバナー】



幼稚園のブログが開設されました。思わず笑顔になる園児たちのイキイキとした姿をお伝えします。

**▶ 今後の予定 【幼稚園】**

日程	開催内容	開催場所
9月 8日(土)	オープンキャンパス	幼稚園
10月 6日(土)	運動会	幼稚園
10月20日(土)	竹馬作り	幼稚園
10月26日(金)	遠足	小戸公園

日程	開催内容	開催場所
11月 1日(木)	願書受付	幼稚園
12月15日(土)	もちつき	幼稚園
12月18日(火)	終園式	幼稚園
1月 9日(水)	始園式	幼稚園



学園

# 平成23年度 決算報告について

**こ**の決算書は、学校法人筑紫女学園が設置する筑紫女学園大学大学院、筑紫女学園大学、筑紫女学園短期大学、筑紫女学園高等学校、筑紫女学園中学校、筑紫女学園短期大学部附属幼稚園及び補助活動(研修所、寮など)を総合した学園全体の計算書であり、監査法人より適正である旨の報告をいただいています。

の減となっておりますが減価償却引当特定資産の積立を行った結果であり、学園の資金が減ったというわけではありません。

なお、基本金組入額の主な内訳は、中学・高等学校校舎及び体育館建築に伴う借入金3億7,220万円が含まれています。

## 2 消費収支計算書

について(表2・資料2)

**消**費収支計算書は、収入と支出のバランスを明らかにするもので、企業では損益計算書に相当するものです。厳しい環境の中、採算を考えながら経営を行うには、重要な計算書です。

## 3 貸借対照表

について(表3・資料3)

**貸**借対照表は、平成24年3月31日現在の財政状況を示すものです。

## 1 資金収支計算書

について(表1・資料1)

**資**金収支計算書は、当該年度の資金の流れを明らかにするものです。

帰属収入(企業でいう収益)は、総額56億2,971万円で、これから施設設備等の取得に充てた額に相当する基本金等の組入額4億2,975万円を控除した額の消費収入は51億9,996万円となります。これに対して消費支出(企業でいう費用)は53億3,111万円で、消費収支差額は1億3,155万円の消費支出超過となっています。

今年度末の純資産(資産総額1負債総額は、206億7,041万円で、前年度末より3億2,660万円増加しています。資産総額に占める純資産(自己資金)の割合は85.7%となり、前年度末の84.3%を1.4%上回っています。また、基本金は208億6,836万円で前年度末より4億2,969万円の増加となっています。

収入調整勘定までの資金収入は、総額79億1,285万円で、これに前年度からの繰越金44億2,043万円を加えた収入の部合計は123億3,328万円となりました。これに対して資金支出は、総額79億4,116万円で、収入の部合計から資金支出を引いた次年度への繰越金は、43億9,212万円となり、前年度からの繰越金と比べ、2,831万円の減少となりました。資金収支計算書上は資金

一般的に経営状況をみる指標として帰属収支差額比率がありますが、本学園は5.8%となり、大学法人(医歯系法人を除く)の全国平均4.4%を上回っています。

表1 / 資金収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,324,519	人件費支出	3,629,017
手数料収入	81,892	教育研究経費支出	735,889
寄付金収入	27,775	管理経費支出	325,320
補助金収入	1,030,686	借入金等利息支出	12,347
資産運用収入	81,030	借入金等返済支出	372,200
資産売却収入	1,112,774	施設関係支出	84,356
雑収入	188,406	設備関係支出	85,119
前受金収入	314,875	資産運用支出	2,801,129
その他の収入	1,292,935	その他の支出	226,993
資金収入調整勘定	△542,037	資金支出調整勘定	△331,210
前年度繰越支払資金	4,420,425	次年度繰越支払資金	4,392,120
<b>収入の部合計</b>	<b>12,333,280</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>12,333,280</b>

「基準」第6条では、資金収支計算の目的は、①毎会計年度、当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入と支出の内容 ②当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするために行うものとなっています。



資料1 / 資金収支計算

表2 / 消費収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	4,324,519	人件費	3,457,805
手数料	81,892	教育研究経費	1,340,704
寄付金	34,463	管理経費	469,054
補助金	1,030,686	借入金等利息	12,347
資産運用収入	81,030	資産処分差額	22,749
雑収入	77,122	徴収不能額	450
		消費支出の部合計	5,303,109
帰属収入合計	5,629,712	当年度超過消費額	103,150
基本金組入額合計	△429,753	前年度繰越額	94,856
消費収入の部合計	5,199,959	基本金取崩額	62
		翌年度繰越額	197,944

「基準」第15条では、消費収支計算の目的は、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容と均衡の状態を明らかにするために行うものとなっております。

資料2 / 消費収支計算



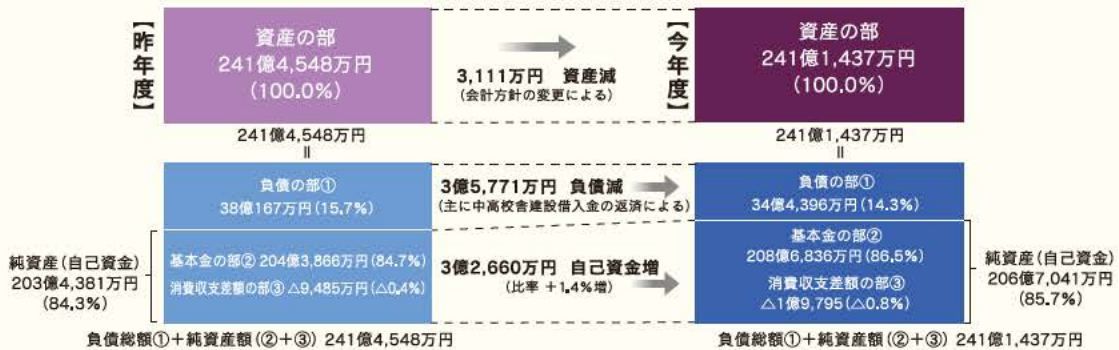
表3 / 貸借対照表 平成24年3月31日

(単位:千円)

資産の部		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	19,537,020	固定負債	2,079,616
有形固定資産	13,169,792	流動負債	1,364,343
その他の固定資産	6,367,228	負債の部合計	3,443,959
流動資産	4,577,351	基本金	20,868,356
		基本金の部合計	20,868,356
資産の部合計	24,114,371	翌年度繰越消費支出超過額	197,944
		消費収支差額の部合計	△197,944
		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	24,114,371

貸借対照表は年度末における資産、負債、正味財産(基本金、消費収支差額等)の状態、すなわち、学校法人にはその時点でどのような資産がどれだけあり、どの様な負債がいくらかあるかなど、法人の保有する財産の権利義務関係(保有状況を表示し、その結果、純資産(正味財産)がいくらかになっているか(財政状態)をあらわすものとなっております。

資料3 / 貸借対照表



筑紫女学園からの お知らせ

人事

退職 (平成24年5月9日付)

教育職員

大学 文学部 日本語・日本文学科 教授 中村 良廣 (逝去)

寄付(順不同)

左記のとおりご寄付をいただきました。誌上、御礼とご報告をいたします。

寄付金

藤本 松香様 金額 二二五,〇〇〇円 (筑紫女学園大学日本語・日本文学科の教育・研究の助成のため)

明石 澄子様他 精華会第18回生有志12名様 金額 三〇,〇〇〇円 (大学生の東北ボランティア活動資金として)

学園奨学金

松崎 秀典様(元中学・高校校長) 金額 五〇〇,〇〇〇円 (退職記念)  
吉田 文三子様(高校特任教諭) 金額 一,〇〇〇,〇〇〇円 (退職記念)

「お詫びと訂正」

本誌前号(第77号)卒業生からの手紙(12ページ)の内容に間違いがありました。関係各位には深くお詫びするとともに、ここに訂正いたします。

「河村さんの思い出の一枚」

写真下のコメント文 (誤)写真左が河村さん (正)写真右が河村さん



公開講座  
レポート

原発問題への関心の高さを実感！

～福島事故の教訓～脱原発社会への現実的シナリオ～

6月16日(土)、福岡市天神にあるエルガーホールにおいて、短期大学部現代教養学科主催の公開講演会『福島事故の教訓～脱原発社会への現実的シナリオ～』が行われました。講師は九州大学副学長、大学院比較社会文化研究院教授の吉岡齊先生です。東京電力福島原発事故調査・検証委員会の委員である吉岡先生は、原発を廃止して石油火力で補うことは出来ても、石油による火力

発電にコストが掛かり過ぎることを言及され、電力消費の多い夏場だけ臨時で原発を動かしてはどうだろうかとの中間的な意見を提示されました。質問では、現在の福島原発の様子を尋ねる声や、震災がれきを受け入れた時に出る被害はどうだろうか心配する声が上がりました。多くの質問が相次ぎ、改めて原発問題への関心の高さが伺えました。(大学/文学部 日本語・日本文学科3年 前谷佳苗さん)



2012(平成24)年度 後期

筑紫女学園大学 公開講座

受講料無料

	講座名	講師等	日時	会場	対象	内容
公開講座	『アジア塾』 「アジアのなかのジェンダー(性差)」 ①中国の女子教育 ②男らしさと韓国社会 ③インドの地域ガバナンスを 変える女性議員たち (福岡アジアムンス)登録事業)	①崔淑芬(文学部教授) ②佐々木正徳 (長崎外国語大学専任講師) ③喜多村百合(文学部准教授) 主催:アジア文化学科	①10月4日(木) ②10月11日(木) ③10月18日(木) 各19:00~21:00	アクロス福岡 セミナー室2 (福岡市中央区天神1-1-1)	一般/50名	中国・韓国・インドの研究者を道案内に、著しい経済成長で大きく変化するアジア社会を、ジェンダー(社会的性差)の視点で読み解く講座です。
公開講座	近代の詩歌 ①戦後詩の世界 ②北原白秋の世界 ③島木赤彦の世界	①松下博文(文学部教授) ②中村萬里(文学部教授) ③出雲俊江(文学部准教授) 主催:日本語・日本文学科	①10月6日(土) ②10月13日(土) ③10月20日(土) 各14:00~16:00	太宰府市 いきいき情報センター (太宰府市五条3-1-1)	一般/30名	明治・大正・昭和に活躍した代表的な詩人・歌人の作品をていねいに読み解きながら、短詩型ならではの世界にふれてみたいと思っています。 ①吉野弘・石垣りん・谷川俊太郎 ②「恵ひ出」と柳川方言 ③「写生」短歌を読む
公開講座	第18回仏教学研究室公開講座 「親鸞 ～その思想をめぐって～」 ①本願 一彼岸からの喚び声～ ②往生 極楽と救済～ ③悪人 救済の人間観～ ④自然 おのずからしらかしむ～ ⑤念仏 一私の名をのりまく～	①中川正法(本学教授) ②宇野智行(本学教授) ③宇治和貴(本学講師) ④栗山俊之(本学准教授) ⑤小山一行(本学教授) 主催:仏教学研究室	①10月13日(土) ②10月20日(土) ③10月27日(土) ④11月10日(土) ⑤11月24日(土) 各15:00~16:30	くまもと森都心プラザ 5階A・B会議室 (熊本県春日1-14-1)	一般/70名	「私が私のままで救われる」一親鸞聖人がその生涯をかけて読み、かつ自身も歩まれた道は、現代の私たちにも多くの示唆を与えてくれます。 仏の深い、極楽往生、悪人正機、自然法爾、念仏の意味など、聖人の説かれた教えを共に学びませんか。
公開講座	発達障がいとは	酒井均(人間科学部教授)	10月20日(土) 10:00~12:00	筑紫女学園大学 8号館1階8103教室	一般/30名	発達障がいとはどのようなものか、その支援はどうすればよいのか、最近のトピックスも交えて、概論していきます。
公開講座	大武高遠の太宰府詠②	赤塚睦男(文学部教授)	11月17日(土) 14:00~17:00	筑紫女学園大学 1号館2階 1202教室	一般/20名	中古三十六歌仙のひとり藤原高遠は、平安時代の寛弘元年(1004)大宰大貳に任ぜられ太宰府に赴任しました。その間、彼は筑紫の地で多くの和歌を残しています。数回にわたって、大武高遠(だいたかと)の太宰府詠を読んでいきます。
公開講座	メディアの現在と 社会情勢	竹田圭吾(ジャーナリスト兼編集者) 主催:英語メディア学科	11月17日(土) 14:00~16:00	福岡国際ホール 大ホールB (福岡市中央区天神1-4-2)	一般/200名	激変するメディア情勢の中、私たちはどうニュースと接すればよいのでしょうか?この講座では、竹田圭吾さんが現場経験に基づいて複雑に見えるメディアとニュースの関係の実態をあぶり出し、社会情勢の読み解き方について新たな視点を提示します。
公開講座	ことばが花ひらく	酒井均(人間科学部教授)	平成25年 2月2日(土) 10:00~12:00	筑紫女学園大学 8号館1階8103教室	一般/30名	ことばは自然に発生してくるものではありません。子どもがことばを習得するために、どのような力を育てていったらよいのか、どのようなことに気をつけていったらよいのかお話しします。

お申込み・お問合せ 筑紫女学園大学生涯学習センター TEL/092(925)9685 FAX/092(925)3573  
〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1 Eメール/gakushu@chikushi-u.ac.jp お申込み方法 ハガキ・FAX・Eメールまたは 本学ホームページ(http://www.chikushi-u.ac.jp)より

\*お申し込みの際は、①受講希望講座名②氏名(フリガナ)③郵便番号④住所⑤電話番号・FAX番号をご記入ください。\*定員に達した場合は、締切りとなりますのでご了承ください。  
\*お預かりした個人情報は適切に管理し、公開講座の運営以外に使用することはありません。

Professors' Works ~先生方の著作紹介~

「バビロニア都市市民の生活」

●S.ダリー 著/  
大津忠彦・下釜和也 訳

紀元前19世紀のメソポタミアで記された宮殿文書や書簡より当時の生活を描き出す。



同成社刊  
2,940円  
2010年12月発行

「廃墟の戦後に燃える  
—アヴァン・ギャルド  
「火の盆」の活動とその軌跡」

●永淵道彦 著

廃墟の戦後、再起を願って奮い立った、作家、画家、音楽家など中年文化人たちの活動の記録。



双文社出版刊  
3,780円  
2011年9月発行

「真宗の  
歴史的研究」

●宇治和貴・斎藤信行 編

親鸞論から戦時教学にいたるまで真宗の歴史的意義を問いつつ研究された論集。



永田文昌堂刊  
7,000円  
2011年10月発行

「日本の外来哺乳類  
—管理戦略と生態系保全—」

●佐々木浩 他15名 著

アライグマ等の外来哺乳類の管理や被害問題について総合的に取り扱った最初の本。



東京大学出版会刊  
6,510円  
2011年12月発行